

## サブドレン核種分析結果<1/2>

(データ集約：9/19)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン
試料採取日	平成25年2月11日	平成25年2月8日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	2.0E-01	ND
Cs-137 (約30年)	4.0E-01	ND
H-3 (約12年)	2.9E+00	6.1E-02
全	ND	ND
全	1.6E+00	9.8E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	5.2E-01	ND

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-2}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年2月9日, 2月12日公表。H-3, 全, 全については平成26年6月6日公表。  
本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1E-2Bq/cm^3$ , Cs-134が約 $2E-2Bq/cm^3$ , Cs-137が約 $2E-2Bq/cm^3$ , 全 が約 $2E-3Bq/cm^3$ ,  
Sr-89が約 $7E+0Bq/cm^3$ , Sr-90が約 $5E-4Bq/cm^3$ 。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

## サブドレン核種分析結果<2/2>

(データ集約：9/19)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 深井戸
試料採取日	平成25年3月11日	平成25年3月11日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.1E+00	ND
Cs-137 (約30年)	2.2E+00	ND
H-3 (約12年)	7.2E-01	7.0E-03
全	ND	ND
全	1.0E+01	ND
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	3.7E+00	ND

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。  
 I-131，Cs-134，Cs-137については，平成25年3月12日公表。H-3，全 ，全 については平成26年6月6日公表  
 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。  
 I-131が約3E-2Bq/cm<sup>3</sup>，Cs-134が約2E-2Bq/cm<sup>3</sup>，Cs-137が約2E-2Bq/cm<sup>3</sup>，全 が約2E-3Bq/cm<sup>3</sup>，  
 全 が約8E-3Bq/cm<sup>3</sup>，Sr-89が約8E+1Bq/cm<sup>3</sup>，Sr-90が約6E-4Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。